

2012年7月1日 No. 112

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 渡辺 啓二

東京都港区新橋 5-17-7 小林ビル

TEL03-3434-1236 FAX03-3433-0334

URL: <http://www.nugw.jp>E-mail: nugw@nugw.jp

全国一般全国協



第83回 日比谷メーデー

野田政権による、民主・自民・公明との密室談合は翼賛政治そのものだ。国民不在の消費大増税攻撃は、あらゆる醜い言葉をあびせてもなお足りない。

「消費税を社会保障以外には使わない」との言い訳すら先送りし、これ幸いとばかりにマニフェストを投げ捨てた。消費増税分は、間違いなく東電存続の軍資金として使われるだろう。現在、株式会社の7割が、また、連結決算を隠れ裏に超大企業の66%が、法人税（国税）と法人事業税（地方税）を1円も払っていないという。何より、内部留保

貧困と格差をますます拡大する消費大増税反対！

参議院で廃案だ！

貧困格差拡大の消費大増税は許さない！有期労働契約・労働者派遣法の規制強化をかちとろう！原発再稼働を阻止して、16代々木公園10万人集会へ！！

野田政権による、民主・自民・公明との密室談合は翼賛政治そのものだ。国民不在の消費大増税攻撃は、あらゆる醜い言葉をあびせてもなお足りない。

野田政権のやるべき仕事に他ならない。

一方、この間の朝日・毎日などの大手新聞は、「決められない政治からの脱却」などと三党の密室談合政治を持ち上げ、国民不在の消費大増税を後押ししている。目線違いも甚だしい。マスコミによる世論誘導は目に余るものがあり言語道断だ。労働者の1/3が年収300万円以下という苦しい生活

大飯原発の再稼働NO！原子力基本法の改悪を糾弾！

7/16代々木公園での10万人集会の大成を勝ち取ろう！

野田首相は、福島事故の検証と何の反省も無いまま「いま考え得る対応は最大限取っている」との詭弁で、大飯原発の再稼働を決定した。しかし、大ウソであることは誰の眼にも明らかだ。週末の金曜日6/22、首相官邸を包囲する「再稼働反対」の抗議行動の人波は、4万5千人を数え怒りが沸騰している。

さらに野田政権は、原子力基本法の一部改正で、「我が国の安全保障に資することを目的として、安全の確保を行う」との条文を盛り込んだ。民・自・公の翼賛政治の密室談合は、「原子力の平和利用」の看板すら投げ捨て、軍事利用の道筋をつけてしまった。断じて許せるものではない。そして、宇宙航空研究開発業務

活実態であることなど、どこ吹く風だ。この間なぜか世論調査が発表されなかったが、6/24のフジテレビの世論調査ですら、消費増税反対は56・8%と過半数をこえている。労働者の生活がボロボロにされてはたまらない！私たちの気持ちは明白だ！1%に大増税を！99%には賃上げを！以外にない。消費大増税は参議院で廃案にしよう！野田政権の行く手は退陣以外に無い！

会員募集

メーリングリスト

(nugw@googlegroups.com)

会員募集中!! 問い合わせは、管理人 (ishikawa@jca.apc.org) まで。グーグル加入で、添付ファイルが送信可能となりました。

お知らせ

7/15(日)～16(月)

●第3回活動家養成合宿
東京晴海海員会館

7/16(月)

●脱原発10万人集会
代々木公園

8/12(日)

●脱原発社会をめざす
8・12労働者集会
講演：小出裕章助教
13:00～開場
江東ティアラ

9/8(土)～9(日)

●第23回定期全国大会
東京大田消費生活センター

改悪を行った。まさに自・公政権すらできなかった悪政が、大手を振ってまかり通っている。野田政権の悪政糾弾の声を、今こそ、職場から地域から、あらゆる所で巻き上げよう。「再稼働反対！」「原発いらない！」の声で埋め尽くそう！



6/6 日比谷野音

再稼働を止めよう！ 脱原発社会をめざそう！

7/16(日) さよなら原発「代々木公園10万人集会」の成功を
8/12(日)「脱原発社会をめざす8・12労働者集会」へ!!

講演「放射能汚染の現実を超えて」小出裕章・京大原験助教
ティアラこうとう大ホール 13:00開場 (主催)実行委員会

6・17

大飯原発再稼働阻止の闘い

野田首相が関西電力大飯原発3・4号機(福井県おおい町)の再稼働を決定した翌日の6月17日、福井県庁隣の福井市中央公園で、「いのちが大事 今なぜ再稼働? ふくいでつなごう」と再稼働反対集会が開催された。

中嶋哲演さん(明通寺住職)の主催者代表挨拶のあ



地元住民の不安や怒り、各地の闘いを共有した。集会後、福井県庁周辺をデモ行進した。(洛南ユニオン・安間孝司)

遠野ボランティアセンター再開のお知らせ

共生ユニオンいわては、5月28日から遠野ボランティアセンターを開設しています。

7月31日までの予定です。場所は昨年と同じ遠野市松崎町白岩13-39-1新堀7区自治会館です。

内容は、陸前高田市のサッカー場の芝生植え、保育園のテラス作り、カキの養殖だなど、花壇づくりなど昨年



全石油昭和シェル労組の川島健次さんは「遠野センターで10日間お世話になりました。おかげさまでおい

6・24

第14回定期大会

全国ハイタク共闘

全国ハイタク労働組合共闘会議の第14回大会が、川崎市のサンワークかながわで開催されました。タクシー労働者の労働条件の改善、今後の組織化方針・戦略などが熱く語られました。

全国ハイタクの仲間は、

6・20

「あたり前の組合活動があぶない」講演学習会

東京御茶ノ水の連合会館(旧総評会館)で、三単産(全港湾、全国一般全国協、全日建)の主催で「あたり

まえの組合活動があぶない」学習パンフレット発行記念講演学習会が、開催されました。三単産の他に、神奈

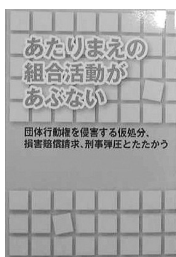
しい食事に暖かな布団で快適なボランティアを無事終

えることができました。三

陸海岸の復興は手がついたばかりで継続的な支援が必要です。これからも出来る限りのことをしたいと思

ます」と語っています。

今年は協力費を1泊1000円いただきます。下記へご連絡ください。



「忍び寄る憲法改悪の危機と労働組合のたたかい」とパンフレット「あたりまえの組合活動があぶない」一冊500円。団体行動権を侵害する仮処分、損害賠償請求、刑事弾圧とたたかう武器です。活用しよう!!

最後に全港湾伊藤委員長の団結ガンバローで締めく

くりました。

題して1時間強の講演を行いました。



6/25 国土交通省交渉

川などの参加もあり、全体では90名を超える参加者でした。

集会は、執筆者である宮里弁護士、萩尾健太弁護士、ジャーナリストの北さんらが発言し、同じくジャーナリストの斎藤貴男さんが、「忍び寄る憲法改悪の危機と労働組合のたたかい」と

国土交通省、厚労省のいずれも、予定の1時間をオーバーしての交渉でした。

「二にも二にも減車(休車)が必要」「会社は歩合給制だから全然困っていない。強力な指導を」と国土交通省にせまり、「客待ち時間は手待ち時間で労働時間だとはっきり言いなさい」と厚労省に詰め寄りました。

事務所 本部

024-0061 北上市大通4-5-12

事務局 山正彦

TEL/FAX 0197-63-3078

事務局長 山下正彦

TEL/FAX 0197-63-3078

遠野責任者 高橋裕介(副委員長)

TEL/FAX 0197-63-3078

携帯 090-1490-6092

7月中央・地方最賃審議会への一斉行動を！ 最賃全国平均千円めざし大幅引き上げをかちとろう！

今年、全国協として初めて、中央最賃審議会に対して意見書を提出する予定です。中央最賃審議会では、今後、数回の小委員会を経て7月中旬～下旬に開催される第37回審議会において、地域別最賃改定の目安を出すものと思われまます。また、地方最賃審議会は、この中賃の目安を受けて実質的な議論を行います。したがって、7月の中旬から下旬にかけて各都道府県最賃審議会に意見書の提出、数回にわたる審議会の傍聴、諮問が出た後の8月初旬には

異議申し出書の提出などの取り組みを行います。

一昨年6月の雇用戦略対話の中で「2020年までの目標として、できるだけ早期に全国最低800円を確保し、景気状況に配慮しつつ全国平均1000円を目指す」との最賃に関する合意が政労使の間で決まっています。しかし、昨年の大震災などを口実に、この合意が反故にされるような雰囲気になってきています。また、2008年の最賃法の改正の中で入れられた「生活保護との整合性」も、

昨今の生活保護バッシングの中で、生活保護基準の引き下げ論議に発展しそうです。

非正規労働者が増加する中で、労働3権を制限され、賃上げ闘争に取り組めない労働者が増えています。こうした中、ワーキングプア問題の解決に向けて、最賃の大幅引き上げは、極めて重要な取り組みです。ぜひ今年度は、全国協の組織の存在するすべての地方最賃審議会に意見書の提出や傍聴動員を実現して最賃闘争を盛り上げましょう。

新組合 宮城合同労組赤門支部再結成なる！

自動車教習所の職員たちで組織する赤門支部は、一九六〇年代後半に結成されましたが、不当労働行為の繰り返しで半年後に潰れてしまいました（第1次結成）。次に、春闘の高揚した一九七〇年代前半新たな労働者たちが再結成をもちと（第2次結成）、以後毎年の春闘で攻勢的に闘い

を展開しました。しかし一九九〇年代から組合潰し攻撃が激しくなり、団塊世代の組合員の定年退職などで次第に少数になりました。そして昨年七月、最後の組合員が定年退職し組合が消滅、ついに会社は約四〇年ぶりにフリーハンドで労働条件を変更できる環境を手に入れました。

こうしたなか、生活に不安を抱いた三〇四〇代の労働者たちが決意し、一般職の教習指導員の過半数一〇名で赤門支部を再結成し（第3次結成）、六月二一日に第1回団交を実現し全ての労働条件を労使交渉で決定することを確認しました。課題は山積みですが、不当労働行為を許さず権利向上のため闘います。

新組合 全国一般荏原支部新加盟のあいさつ

由倉労組は、企業合併に伴い、3月31日をもって解散し、正社員の組合員7名は、新たに発足した荏原製作所栃木事業所の中で、荏原合同労組の藤岡特区の組合員となりました。

名は、全国一般労働組合荏原支部（嶋田泰治支部長）を3月28日に結成いたしました。

定年後再雇用の組合員5

全国一般労働組合荏原支部は、当面、荏原製作所の栃木事業所内の非正規雇用労働者の組織化に取り組む

48時間スト「やっぱりストライキは楽しい！」

東京南部左官タイル国保分会

結成30年を越える左官タイル国民健康保険組合労組（組合員6名）は、地方公務員賃金を参考に賃金改定をおこなってきた。しかしこの数年の東京都人事委員会勧告の前年マイナスを受け賃金削減の攻撃が続いている。組合は賃金表に基

昇給を確保しつつ、一時金を含む前年比マイナスには補填措置を求めてきた。しかし、昨年11春闘では妥結に至らず12春闘に突入、2年越しの賃上げ闘争となった。組合は、20年ぶりのストライキを2日間48時間決行した。このストライキの

所存です。また、地域共闘として佐野地区労働組合会に加盟し地域の運動を継続していく決意です。また、全国協に加盟が認められましたので、微力ですが、労働者の生活と権利、雇用を守る闘いにも取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

結果、経営はついに上積み回答を出し減額対象組合員の救済措置に応じた。ストライキに参加した組合員は、初めてストライキで仕事から解放され大いに社会見聞を深めるなど余裕の闘いを展開、「やっぱりストライキは楽しい」と総括している。

大森工場閉鎖と全員解雇攻撃と断固たたかう

東京東部労組デイベンロイ労組支部

工場閉鎖と全員解雇の攻撃と闘っている東京東部労組デイベンロイ労組支部の争議は東京都労働委員会

5日間のストライキ闘争を頂点に、連続的なデモや集会、社長宅ビラ配布、親会社サニクリンへの抗議行動を闘ってきた。

者が先頭になって敢行した

その成果として工場働いていた組合員17名の解雇

を許さず、現在も大森本社での雇用を継続させている。17名に辞めろと言わんばかりの営業部への配転命令も撤回させた。現在は17名が通勤できる近隣の移転場所の確保と組合事務所の設置が焦点となっている。東部労組は約50名の支部組合員の雇用と生活、団結権を守り抜く決意だ。

有期労働の実効ある 規制を求め、運動を 強化しよう！



6月15日「これでいいのか？労働契約法改正案、有期労働の実効ある規制を求める緊急集会」（参議院議院会館）参加189名

<ゆうき連帯行動>主催

- ☀5/10 平和行進結団式(県立体育館)に700名集合。三単産結団式と沖縄学習会(港湾センター)全体86名、全国一般 6 名が参加。
- ☀5/11 県庁前～南部糸満ひめゆりの塔19.2kmコースに300人参加。
- ☀5/12 糸満市・平和記念公園～南風原町文化センター16.7kmのコースに700人参加。東京南部 5 名と大阪全労協青年部 3 名が三単産交流会に合流。
- ☀5/13 宜野湾市役所から3000人が行進(10km)、『5・15平和とくらしを守る県民大会』(宜野湾海浜野外劇場)に合流。夜、三単産最後の交流会。



前回、平和行進に参加した時は戦後60年の年でした。各休憩ポイントでは地域のボランティアが冷えたお茶や塩分補給、甘味のをを用意されて出迎えていただきました。全港湾の全国から参加された青年部や沖縄地本の方たちでレンジャーとして行進の安全のために交通整理をして頂き感謝し

復帰40周年・第35回平和行進 三単産・全国から86名が参加

前回、平和行進に参加し

ております。

今回で平和行進は二度目の参加となりますが、復帰40年の今年は、三単産の本士参加者は増加していたが、全体参加人員が減少しているように思われます。普天間基地問題は、はっきりしないし、危険なオスプレイの配備が決定されるなど次々と難題が増えています。基地のない平和行進が行われるように待望し、当労組からの平和行進参加を途切れないようにしていきたいと思っています。(三単産副団長 中金労組・石田博司副委員長)

参加者の声

初めて参加して……

中金労組 長谷川 惇

今回、私は沖縄の平和行進に初めて参加させていだきました。

5月10日の全国結団式及び与那国コース引き継ぎ式から5月13日の県民大会まで参加しました。3日間約44kmの行進中は、沿道よりこどもからお年寄りの方まで多くの声援をもらい、各

本当の沖縄を知ることが出来ました！

大鵬薬品工業労働組合 笠井 慎二

この度、沖縄本土復帰40年という記念すべき節目の年に、5・15平和行進に初参加させて頂きました。

私自身、沖縄を訪れたのは3度目ですが過去2回はプライベートの観光であつたため、沖縄のイメージは「南国の海、美味しい食べ物」と言った雑誌に掲載されているような、美しく楽しい島のイメージしかありませんでしたが、現地で勉強会等に参加し本当の沖縄を知ることが出来ました。それはまず、2004年のアメリカ軍普天間基地所

属の大型ヘリが沖縄大学へ墜落した際の現地テレビ局の映像を見せて頂きましたが、事故直後、消火作業が終わった後にアメリカ軍が現場を封鎖し、事故を起こした機体を搬出するまで日本の警察・行政が現場に一切立ち入れなかった様子が映されていました。本土の人間ではあるが本当に腹立たしい映像でした！

また、米兵は事件、事故を起こしても基地内に逃げ込めば治外法権で逮捕すらされていません……被害者はただ泣き寝入りするし

この平和行進が、平和を願うものではなく、平和を祝う行進になるには危険なオスプレイ配備阻止、米軍基地の閉鎖及び米軍撤退がなくてはならないことだと思いました。

今回沖縄の平和行進で、全日本港湾労働組合の組織としての大きさに大変驚きました。しかし、その組織の一部である大阪支部が、大阪の現市長である橋下の

か無い状態で、この様な腹立たしい現実を沖縄の方は本土復帰40年を迎えた今も耐え続けています。

沖縄戦でも多くの犠牲を払い、本土復帰40年を迎えた今も沖縄の方だけに多くの犠牲を払わされている状況を、我々、本土の人間が今一度、真剣に考え本当の意味での沖縄本土復帰が実現できるよう行動を起こさなければいけないと感じたし、是非、皆さんにも平和行進に参加して頂き、本当の沖縄を知って頂きたいと感じました。

影響を受けて存続の危機にある状態であると話されてきました。大きい組織ですら、少しずつ崩されてしまいう可能性があるので、これを知り、『連帯』の大切さを痛感しました。

